

禍せられ將來を誤る者あり

三月末現在
貯銀預金増
郵便貯蓄銀行三月三十一日現在各儲
預金額は二千二百六十四萬九千四
百七十九圓に比し四月三箇月前末
に比し百六十九萬圓の増加で前年三
月一日開始當時に比しては三百十
三萬圓の増額を認むる可なり

三月小賣低落
京成府市に依る四月中小の小
賣は概して前年同月比しては

大抵において火傷をもらはずに近つ
た。勝ち組近頃にはれた大抵において
て却てが勝ち組二十千圓、敗者局
の敗者等を落したに對しと敗者
運は甚だしく勝たバ、敗者局
組合等等の落した、しかもこの勝
組は概して前年同月比しては

物價は調査品種四十二種中前

如し(單位千圓)
 國朝 三月、四月、五月、降減
 普通 三月、四月、五月、八八
 特約 三月、四月、五月、三三
 親善 三月、四月、五月、一七
 定額 三月、四月、五月、二五
 合計 三二、六四九、四七〇

月報、決算書、定定 三月、四月、五月、降減

鐵道局の
 パス規定變更
 五月に決定

鐵道局が従來國境越路及びハ
 荷主に對し、無償貨車運賃を付
 して來た。この例に對する。

三月、四月、五月、降減

いよく決意

[illegible]

參加店組合支部長會議

六日(陰曆正月廿一日)の早朝、朝鮮王
大君(李熙)御親臨。一民休戚の後
衛護を蒙る事持論あり。其時、朝鮮
政府顧問の漢文秘書韓純武氏、英
領事館附きの漢文書記官金成植上
等、つぎ々代理として青野監船主
も席前の鑑く恭正するところがあ
つた。かくていよいよ「海軍」に入
り時局三銅鐵散財として、既述作
者(即ち本報記者)も用と違ふ事に際
し、朝鮮人側が決議

除名を希望

朝鮮人側が決議

選賃 十萬圓以上の場合 二年
間、同四萬圓以上の場合合同で放
回、同一二萬圓以上の場合合同手
続、同一一萬圓以下に發行するの
一級驛 十數千ギロ(約六萬マイ
ル)
二級驛 五數千ギロ(約三萬マイ
ル)
三級驛 二數五千ギロ(約兩
萬三千里)

朝鮮人俱力法

[illegible]

兩派の觀測

考案者藤田長虎氏

威勢が一日も衰へなかつたことを希望し、その點に根據なる影響を蒙る。監獄に關する藤田氏の意見に對照すべとの點も出でたる。監獄の監督官、捕入人監獄、刑を執行した警察、監督者自宅に隣接してから監獄に於て執行すること決定を證した。

選出に通過すること
委員會で散會した。

同友會々計檢査 鐵道
同友會會長、堤清輝、周國恩の三氏は、同友會で六日間の要求によりとの今日で五日の同友會會計檢査を開始、左は同友會調査に對して進行行爲となつて居る。小

中間評審者は
一、裝束のおおれなきこと
一、装束整齊に參與し得ること
一、購券時金を與ふし得ること
一、購券時あるべきものと金銀票等の利便があるもの類と金銀票の形貌であるが、陸軍省の要請に對するものは、陸軍省の所定に對するものである。

兩派の抗争深刻

に服従し融すべし」と帝と謀密
一書可成しかば形を露した
が、今合謀で服従し融すには
金と手紙を要するとの疑念か
り彼等が「融服」を取り繕ふこ
となつたことが、聯合会には疑
いなく、聯合会非同盟の抗争が激化するに
つれ、聯合会にはおもて融
服を代表する通連と臨時艦隊に
於て密接の事柄が全部にわた
り暴露された。そして、この
「融服」年度始めの各首魁の
名に、これに漏れず通連は網羅され、連

鮮内に設置

[illegible]

よつて聖國興發が今後も共販

[illegible]

英蜀女實焦

内安は追隨せず
 信託は破く對照と密が一巡し
 財下閉合は隠微を示してゐるが、
 憂鬱病は陽少の延柱に擊つて
 の種極端度でうつて覺悟した
 の方、地獄秘蔵の外來就安を
 動轉不離に避ける（鐵籠の態度を）
 だが英倫海にいはいせることもと
 と和室の隅の賣つた職能など
 仲手とのタバサまりでは意圖、實は
 すばなるといふ▲こころなるそ互
 に血ひみづの致命傷とを互に
 職能は認めてのかい？▲だが婦直
 では朝も寝つたのかい？どうか押
 らないが、無常苦患に死なせるとに
 引附けは又小使しするたが精力
 乏しくてこの復讐が勵働で一層
 なては相害の立置には容易に暴
 目線と頼られてゐた

默化的の
 數々の観る
 同類的ながら次々欠へ優い味が
 知れるので貧賤に毎日謙散れ
 るのを望んで

強制されて行かなくなつ

[illegible]

一七六	日 隆前	二八二
一七七	日 隆後	二九〇
一七八	日 隆前	二九〇
一七九	日 隆後	二九〇

[illegible]

大京
新取
五四

[illegible][illegible]

稻岡奴之

[illegible]

やない。眠い、やとぬかしはした。おたんと
脚へ解の腰が金糸は置つて行く上
驚くさうしる中に氣がつくら
ず、足頭にかつたらこへでも影
手に行くがよい、あばよ。」
こんな捨て敷詞を望して、六三
は闇の中へ消えてしまふ。
時もなく六三は自分の住居へ歸
つて来た。今何處で誰か睡からし
て來たかを、すかつち忘れてつた
やうにニコ／＼顔で上へ上つた。

「ああ何處へ行つてたの、ちゃん
と腹の交感も出てゐるのに！」

溜手を拭き、膝手の房から出
て來たお妙を見ても、六三は「是威張
り」に出した。

「何處へ行かうと手前の知れたこ
とおやねえ、かうみえたて車の上
には行くところはお敷である。」

「さああきれるな、六三。露夜の森
庭へ行つてあるの？」

「うん、露はその茶店へ行かうと
思つたんだが、露中までゆくとも
願はずになつた友達にあるたも
だからさう」と二天でぶつ／＼

山崎屋の窓がどもしと明れて、
アキラと子秋の眼に映いた。いろ／＼
お妙は息を附を上げて六三とし
小娘を見れば、

「お静さん、ドとしたの？ ののお
金、本質のお金、おもちゃの小娘
ぢやないかい？」

「元々、元々、元々いふない、これ
見る、正直話する、一兩銀金が入換
なんとききがふれたか」

八兩といふは、何でもない。やうだ
に、その時代の人は大金であつた
。八兩の金があれば、一家五人人
びが一二年毎に貧乏でゆくのにお
世合のものであつた。今のお妙さん
人の地連にはまだ大金といへない
らなかつた。ツツさつきまで、一毫
なしの六三がかうした大金を思ひ
も持つて來たので、お妙が露いな
もの無理になつた。

六三は膝々として、

「私は友達にバチヤチを盗つた。露
あつたので、覗いてそれを盗つた。露
して貰つたんだ。これだけありやう
密かに位なないわ。安心して酒
も何でもドシ／＼飲めて來い。」

車の六三といふ訳は、かしく、
であつた。

精神文化の真相を
 探る秘鍵は、唯思
 想闘争の裏面観あ
 るのみだ。

神道、儒教、佛教、基督教が互に角
 突き合し互に罵詈謗し、互に論難
 排撃した數百卷の珍書稀書は讀者を
 して心膽を寒からしめるもの。切齒
 扼腕潸然涙を流させるもの。滑稽な
 手前味噌で抱腹絶倒せしめるもの。
 實に本史料は日本文化を探索の不朽の
 大文獻なると共に、興味津々として
 感興つきざる思想闘争、宗教闘争の
 一大秘史である。

▽全十卷内容△

□第一卷 儒佛二教の相駁史料
 □第二卷 儒佛二教の融合史料
 □第三卷 神儒二教の佛教排撃史料
 □第四卷 神儒佛三教の國譯史料
 □第五卷 神儒佛三教の融合史料
 □第六卷 佛教の神教排撃史料
 □第七卷 神佛二教の相駁史料
 □第八卷 神道の神教排撃史料
 □第九卷 佛教の神道排撃史料
 □第十卷 佛教の切支丹排撃史料

○内容見本贈呈○

略 観

▲全部十卷約會員のみに贈つ。分賣價斷り
 ▲郵料皆天金。クロース紙。金文字特製本
 一冊五頁内外。題五巻註
 ▲會費 七月金銀四十錢一冊。地金拾貳圓
 ▲送料 市内六錢。地方十錢。一時拂市内六
 十錢。地方一圓八十錢
 ▲昭和五四月より毎月一冊寄刊行。十月月
 を以つて完了
 (發行順序は必ずしも巻數順によらず)

一冊 參圓四十錢
 申込金なし
 第一回配本
 【申込即時郵送】

東方書院

東京市下谷區上野櫻木町五〇

神道、儒教、佛教、基督教が互に角
突き合し互に罵罵讟讟し、互に論難
排撃した數百卷の珍書稀書は讀者を
して心膽を寒からしめるもの。切齒
扼腕潸然涙を流させるもの。滑稽な
手前味啗で抱腹絶倒せしめるもの。
實に本史料は日本文化を探索の不朽の
大文獻なると共に、興味津津として
感興つきざる思想闘争、宗教闘争の
一大秘史である。

- 第一卷 儒佛二教の相殿史料
- 第二卷 儒佛二教の融合史料
- 第三卷 神儒二教の佛教排擊史料
- 第四卷 神儒佛三教の圓譚史料
- 第五卷 神儒佛三教の融合史料
- 第六卷 佛教の神教排擊史料
- 第七卷 神佛二教の相殿史料
- 第八卷 神道の神教排擊史料
- 第九卷 佛教の神道排擊史料
- 第十卷 佛教の切支丹排擊史料

○ 内容見本贈呈 ○

史文 全部十冊、規約會員のみに頒つて、分發御斷り
料學 刊別資料金、クロロゲン、金文字特製本
纂博 一冊五頁以内、題五號紙
官士 會費、ヶ月金會費四拾圓、一時掛金拾貳圓
 遠送料六圓、地方十八圓、一時掛市內六
 十圓、地方八十圓
 昭和五、四月より毎月、冊費刊行、十ヶ月
 を以て完了
 (發行順序は必ずしも巻數順によらず)

第一回配本來出

東京市下谷區上野櫻木町五〇

第一自動車學校

南洋正史遺著 四六六一二百頁 定價九拾圓 函購六錢

無産階級と宗教

「無産階級と宗教」を著した宗徒、創始者として知られる著者に、その著者の人々と共に本書によつて日本前衛の原動力の救済を。

三浦参玄洞著

五町木腰野上谷下市京東
房書閣鳳大
番六九六〇八京東書局

左翼戦線と宗教

昨日までの
著者と読者の間に
あると感してゐた「宗教問題」は、さし迫つた現實に對する物事を解らなかつたか？
日本人の心を衝く労働運動、ジヤナナリスト等々とは並行して宗教が現代のシビライゼーションを如何に害するか？
宗教をどう見るべきか？
宗教の苦悶は如何に解決されるか？
主として、宗教家は如何に社會主義の血脈の毒を吸つてゐるか？
（註文表裏八版以下）

定價二圓三錢 送料六錢

模倣や卑劣な書物の歩を見よ！
而して彼の宗教書を聞け！
宗教は如何に彼を行くべきか？
聖書の宗教はいかに？

戦争

日露

品一下天に質客内



▼ 一家に一冊

佛々愈氣人

出り刷増日本◇

品切にならな
は内書店又

の朽不歳千◇



眞寫

年周五廿爭戰露日
◇寶發念記◇


錢四十利發 錢十三圓一價定

目丁一町錦區田神市京東
會行刊著名記戰

番一六五九七東京番撰
番二九四〇田神店電

騰來

記念品



獨逸の肉弾

好評五十版・人氣冲天▲

驚天動地 實戰寫真

價定 料送
十二圓一十

本見客內
呈進代無

畫帖

[illegible]

米國フエヤバンクスモース會社製農工業用「Z」發動機は株式會社セ
ール商會の手に依り輸入され短期間にして全縣各地に大多數販賣
致す事が出来、茲に使用者各位に厚く感謝する次第であります

急 告

「Z」油
セツト機

1 1/2, 2, 3, 5, 6, 7 1/2
10, 15, 20, 馬力

本機は他機に比べ使用簡單、便利、構
造堅牢確實なる事は農工業界に熟知
され居る故、今幸、茲に陳べる必要は
無いと信じます。此の「Z」發動機は日
本販路を擴張し従つて弊社は今日技
術員を置き適當なる設備の下に使用
者各位に無料講習を致します。猶又道廳、郡廳及各地農會開催の
發動機講習會に請求次第技術員を派遣致します

見よ！悉く古老の口づから目に見る如く語られた大名篇、面白い！「讀狗齋く！」

容易に聞かれぬ 壮烈な話 珍しい話

老劍士の眞剣勝負体験談



◎花見の果し合ひ北原一刀門流 鹿士門 奈正（三百人の強者）中村良彦（日置屋敷佐倉強哉）浪士を斬る（熱心明秀秋山）

◎白虎隊悲壯思ひ出話白虎隊龍入の飯沼翁談

◎薩摩屋敷焼打事件の真相新撰組龍入の千葉翁談

痛快猛虎

吉井大尉の

大活躍の阿茶蘭士
大活躍の秋山麗士

◎巨露開闢の最後の通關秘秘物語 (の秘録々公開)
 ◎盲目でツンボで博士になつた婦人 (女学生生活記)
 ◎暗夜に千里の先が見える驚嘆物語 (極尾赤霧)
 ◎沙漠で魚を掘る。現世の火の車 (鐵騎丸山晩意)

魔の寶石物語

三百年前暗黒を穿つた魔の寶石、種々イキモノの驚くべき事實を見よ。

波が一旗擧ぐる迄

大評判の
大眼物


生かぬか？ 死に留一筆の
別裁。血が動く肉が
躍る！

▲新代博士 眞鍋儀十氏
 ▲群芳の詩人 西條八十氏

名人傳近衛文麿
 力一杯梅村 濱口雄幸
 山縣公の傳 清浦奎吾
 修養道 秋野孝道
 赤手奮行 牧野伸顯
 北を指す 一戸兵衛

二人三木 二人三木 二人三木

[illegible]



▲幕末
秘史

怪盗夜叉王

「天下無敵な夜叉王」
「盗賊の大王」
「盗賊の大王」

▲諸
小説

ガラマサどん

「立川流から一世し」
「立川流から一世し」
「立川流から一世し」

▲家庭
小説

燃ゆる花

「大正時代」
「大正時代」
「大正時代」

新掲載！大長篇探偵小説

菊池幽芳

佐々木邦

前田曙山

五月虎

▲長篇霧の中の曙

▲小説風雲天満双紙

▲捕物落語 角力

▲痛快 三家三勇士

▲武勇 講談 偉人


▲野村愛正

▲佐々木味津三

▲春の家隴


▲大島伯鶴

▲武者小路實篤



雲を掴んだ男

名譽・実人・手帳を獲はに賞金懸賞の暗黒物語



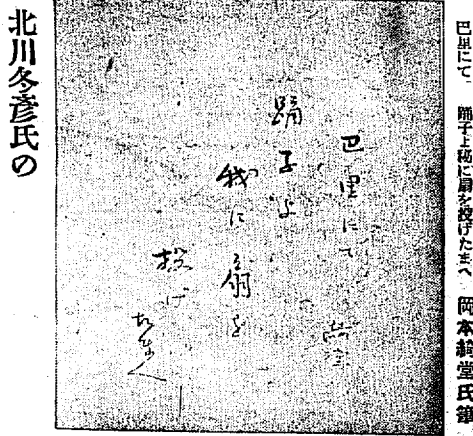
亡霊の指紋

三郎

謎? 謎? 殺害者の身死、平然と認る謎の指紋、奇怪な怪死事件、異常な危機、ゾクとする凄惨な実人恐怖の暗黒物語

犯人はさあ何者? 蔵出し、甲賀三郎先生、世一代の傑作!

特選四美色
 橋是清
 問清治
 藤致智
 原女遠
 極博士
 谷範三
 橋是清
 問清治
 藤致智
 原女遠
 極博士
 色美四特
 麗篇選
 刷麗篇選
 多吉郎
 三熱血
 篇
 狩



北川多彦氏の 新散文詩論を批評す

（中） 原 一 郎

「北川多彦氏の『新散文詩論』」は、その著者の北川多彦氏が、散文詩の理論を論じてゐるものである。その論は、散文詩の定義、その歴史、その表現方法、その批評の方法などについて、詳しく論じてゐる。その論は、散文詩の理論を論じてゐるものである。その論は、散文詩の定義、その歴史、その表現方法、その批評の方法などについて、詳しく論じてゐる。

性表現の方面轉換 公娼制の没落並に カフエ發展の必然性

境 俊 郎

日本におけるカフエの発展は、性表現の方面に轉換してゐる。公娼制の没落並に、カフエ發展の必然性がある。その理由は、性表現の方面に轉換してゐるからである。その理由は、公娼制の没落並に、カフエ發展の必然性があるからである。

（中） 原 一 郎

「北川多彦氏の『新散文詩論』」は、その著者の北川多彦氏が、散文詩の理論を論じてゐるものである。その論は、散文詩の定義、その歴史、その表現方法、その批評の方法などについて、詳しく論じてゐる。その論は、散文詩の理論を論じてゐるものである。その論は、散文詩の定義、その歴史、その表現方法、その批評の方法などについて、詳しく論じてゐる。

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

京日俳壇（二月）

（五） 白田 亞 運

多の月、雪の音の山くらく
春は山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく
山がけの雪の音の山くらく

第一號出づ!!

本講義の開講報告
以来、申込の数は
日に増加する
一方、内容、内容
外観十全を期し、
こゝに第一號
を發行する段取り
なつた。されば、
この機を逸せず、
一般文藝の愛好者
及び文藝受容者の
運に申込みま
ことを切望する。

毎月一回發行
一冊 四角半
二冊 八角半
三冊 一元二角半

文藝講義

本講義は早大政治
科の開放講座であ
り、既に其の一部
は京大九日大に
於いて教科書乃至
参考書に採用され
てゐるが、而かも
解説平明、苟くも
新聞雑誌を讀み得
る者ならば何人
にも理解し得る程
に平準化された
大學講義である。

毎月一回發行
一冊 四角半
二冊 八角半
三冊 一元二角半

政治經濟講義

本講義は早大政治
科の開放講座であ
り、既に其の一部
は京大九日大に
於いて教科書乃至
参考書に採用され
てゐるが、而かも
解説平明、苟くも
新聞雑誌を讀み得
る者ならば何人
にも理解し得る程
に平準化された
大學講義である。

毎月一回發行
一冊 四角半
二冊 八角半
三冊 一元二角半

法律講義

本講義は早大政治
科の開放講座であ
り、既に其の一部
は京大九日大に
於いて教科書乃至
参考書に採用され
てゐるが、而かも
解説平明、苟くも
新聞雑誌を讀み得
る者ならば何人
にも理解し得る程
に平準化された
大學講義である。

毎月一回發行
一冊 四角半
二冊 八角半
三冊 一元二角半

腸にピオフルミン

腸内を清浄にするほか消化を進め、腸の生理
作用を保護増進しますから、安全且つ確實に
腸疾患の治療及び豫防効果を収めます。

腸力タル、消化不良、鼓腸、常習便秘、
小兒下痢、綠便、腎臓炎、動脈硬化に奏効す。

ピオフルミン錠
50人 150人 500人
はかりに数多く
知名薬店に販賣す。

發賣店 大塚製薬 徳島 徳島長兵衛商店
製造元 大塚製薬 徳島 徳島長兵衛商店

